

平成27年度 下京区運営の総括表(実績)

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
	みんなのつながりで「子育て」環境を育むまちづくり事業の推進【新規】	区民の皆さんが、安心して子育てできる環境づくりを整備するため、市教育委員会生涯学習部の子ども育みサポーターと連携し、保育所、幼稚園、小学校、PTAなどへ働きかけ、孤立しがちな保護者を対象に、子育て支援を行っている既存の各種団体のネットワークを活用した「子育て」に関する講演会等の開催や、各種団体の活動拠点を活用した子育ての悩み相談や交流ができる「集いの場」を設置するなど、様々な取組を進めます。	<p>○「親と子が共に育む 下京つながりフェスタ」 日時 平成28年2月28日(日) 午前10時～午後3時 場所 下京青少年活動センター 2階 参加者 約160人(大人約120人 子ども約40人) テーマ 安心して子育てできる環境づくりを進めていく一貫として、小中学校を中心に、保育所、幼稚園保護者にも働きかけ、親子で共に楽しめるフェスティバルを開き、子育て支援を行っている様々な団体のネットワークを活用して、「子育て」についての講演や、子育ての不安や悩みを話して交流できる「集いの場」を設けることによって、ややもすれば孤立し不安を抱えがちな保護者が、気持ちを楽しみに元気に子育てにできるひとつのきっかけになれるようにする。</p> <p>内 容 【見て楽しむ】メインステージ 区内保育園児、小学生 दौरान劇団子育てJOYトーク 【体験して楽しむ】親子でカラダを動かして遊ぼう、下京中学校伝統文化部コーナー、手作りお菓子&軽食販売、市立芸術大学の似顔絵、お遊びコーナー 【おしゃべりして楽しむ】絵本カフェ、ざっくばらんカフェ 主催 下京子育てつながろう実行委員会</p>	今後とも、子育て支援を行っている既存の各種団体のネットワークを活用した取組や、各種団体の活動拠点を活用した子育ての悩み相談や交流ができるイベントを開催するなど、様々な取組を進めていく。	地域力推進室 福祉部 保健部
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「下京歩歩(ぼっぼ)塾」の推進	歩くことは最も簡単にできる有酸素運動の一つです。 歩くことを継続することにより、筋力や心肺機能を高め、生活習慣病予防や老化防止にもつながります。そんな「歩くこと」の効果を実感していただくこと、「下京歩歩塾」ではIT歩数計をつけて歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の皆様の健康増進を図ります。 今年度も引き続き塾生による企画運営委員会が主体となって散歩会や歩こう会等の行事を企画・実施するとともに、食生活診断や脚筋力測定の実施による食事面や身体機能面でのアドバイスを行うなどの活動を行います。	歩こう会やミニ講習会などの取組に加え、塾生間で話合って自主的に散歩会を実施するなど、塾生の健康増進を図るとともに、自主的な運営ができるよう取り組んだ。 【参考】塾生数 85人(4月初) ・散歩会 月1回程度実施。参加者は、毎回10～15人程度 ・血圧及び体組成測定 ミニ講習会実施会場において血圧及び体組成測定を実施した。 ・食生活診断 食習慣の質問に加え、新たに老化危険因子を調べる質問票を用いて、食生活と加齢についての分析を行い、管理栄養士が各個人の食生活の傾向を分析し、今後の食生活に関するアドバイスを個別に行った。 ・脚筋力測定 脚筋力測定に加え、新たにロコモティブシンドローム診断ツールの質問票「ロコモ25」を用いて、個々の骨格筋量とロコモ度チェックを行うとともに、脚筋力とロコモの関連について、同志社大学が歩歩塾生全体の傾向を分析した。 ・歩こう会 日時 12月5日(土) 場所 北大路橋～上賀茂神社～西賀茂橋～北大路橋 参加者 65人 ・ミニ講習会 開催数 年9回 参加者 延べ168人	運営委員会の中で塾生から活発な意見が出され、塾生が主体的に行事を企画・実施するようになった。また、分散していた歩数計の集計会場を10月から1箇所(区役所)に集約することにより、塾生同士の交流が一層深まった。 事業開始から5年が経過し、実施したアンケート結果から、本事業により区民の健康増進を図ることについて、一定の成果を収めたことが分かった。 平成28年度からは、企画運営委員会のメンバーが中心となって、塾生による自主運営に移行する。今後は、塾生自らが、健康づくり活動を行い、健康寿命の延伸に向けたさらなる取組を進めていくよう支援していく。	地域力推進室 福祉部 保健部

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	
基本方針 I-① 健やかな暮らしを 地域力で育む	健康寿命延伸に向けた健康づくり事業の推進	健康教室や食育セミナー等を通じて、区民一人ひとりが健康づくりへの意欲を高め、それぞれの年齢や心身の状況に応じた健康づくりに取り組むことができるよう、健康づくり事業を推進し、健康寿命の延伸を目指します。 併せて、地域における健康づくりの担い手となる「健康づくりサポーター」を養成し、梅小路公園や下京老人福祉センターでのメタボボックスの普及活動を支援することにより、区民による地域での健康づくりを推進します。	○健康教室 ・歯ッピーはみがき教室in下京 日 時 ①9月15日(火) ②平成28年2月3日(水) 対 象 1歳6か月児健診終了後から3歳3か月児健診を受けるまでの子どもとその保護者 内 容 仕上げみがきの個別指導等 参加者 ①9組 ②14組 ・中学生の喫煙防止教育 ※いずれも、未成年者の喫煙をなくすことが目的 日 時 ①6月16日(火) 対 象 七条中学校1年生 ②8月25日(火) 対 象 下京中学校1年生 内 容 喫煙が全身に与える影響等についての講義、呼気中の一酸化炭素濃度の測定等 参加者 ①130人 ②201人 ・思春期講座「性感染症について」 日 時 平成28年2月23日(火) 対 象 七条中学校3年生 参加者 136人 ・健康づくりにチャレンジする教室(3回シリーズ) 日 時 ①9月25日(金) ②10月9日(金) ③10月23日(金) 内 容 ①講話「日常生活でもできる健康づくりの秘訣」、メタボボックス体操、交流 ②講話「お口のお手入れ」、メタボボックス体操、交流 ③講話「カルシウムたっぷり献立の提案」、メタボボックス体操、グループワーク 参加者 ①6人 ②8人 ③6人 ○食育セミナー ・京(みやこ)クッキング 日 時 ①6月5日(金) ②6月19日(金) 内 容 講話、クッキング、試食 参加者 ①22人 ②21人 ・男の料理教室「入門編」～バランスクッキング～ 日 時 平成28年1月22日(金) 内 容 講話、クッキング、試食 参加者 9人 ・旬野菜クッキング 日 時 平成28年2月19日(金) 内 容 講話、クッキング、試食 参加者 13人 ○健康づくりサポーター養成講座 日 時 ①5月22日(金) ②5月29日(金) 内 容 ①健康づくりに関する講話、実技・運動指導 ②先輩ボランティアとの交流会、歯科・栄養に関する講話 参加者 ①11人 ②10人 ○健康づくりサポーターの活動支援 【参考】登録数 17人(4月当初) ・健康づくりサポーター養成講座等の保健センター事業と連携することによる活動の場の提供 ・健康に関する正しい知識や情報の提供(※健康づくりサポータースキルアップ教室を3回開催) ・梅小路公園や下京老人福祉センター等での自主活動のさらなる定着、拡大に向けた支援	健康教室では、中学生から高齢者までを対象にそれぞれの年齢に応じた健康に関する内容を実施した。 区民の健康寿命の延伸に向けた意識を高めるため、健康教室の中で、平均寿命と健康寿命に差がある現状や健康づくりに取り組むことで健康寿命を平均寿命に近づけることが大切であることを強調した。 健康づくりサポーターについては、今後も個人の健康感を高め、さらに地域にも目を向けられるように参加者同士の交流を図り、地域における健康づくりの担い手として活躍していただけるよう支援していく。	健康づくり推進課

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動 の実施【新規】	平成26年7月に本市と京都府警察が相互に連携し、地域と協働の下、市民生活の一層の安心安全の実現とともに、観光旅行者等の安心安全の向上を目指して「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」の協定を締結しました。 下京区では、協定の締結に先駆け、平成25年6月に下京区役所と下京警察署が連携を図る「下京区安全・安心まちづくり連絡会議」を設置し、下京区内の安心・安全なまちづくりの推進を進めています。 最初の取組として、区内で大きな課題となっている自転車盗難件数の大幅な減少に向けて取り組んでいくため、区の推進組織を立ち上げ、自転車盗難被害が多く発生している中高層住宅にお住まいの方に対して、自転車盗難の防犯啓発を警察と共に取り組んでいきます。	11月25日(水)に下京区に住むだれもが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、下京区を訪れる誰もが安心して過ごせる、やさしさあふれるおもてなしのまちを実現するため、学識経験者、地域の各種団体、小中学校、事業所から構成される「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」を立ち上げ、「地域」、「事業所」、「行政」が一体となり「オール下京」で安心安全で心安らぎ心温まるおもてなしのまち下京を目指すための「下京区版運動プログラム」(案)を平成28年3月に策定した。	平成28年度は、「下京区版運動プログラム」(案)に対する区民の意見募集を早急に行い、その意見を踏まえ、プログラムを確定する。 プログラムの重点項目である、自転車盗難と万引きの防止について部会を設置し、啓発活動等具体的な取組を進めていく。	地域力推進室 福祉部 保健部
	安心で環境にやさしい夜間門灯点灯運動の実施	犯罪者は、人目につきにくく薄暗い場所を選んで犯罪行為に及びます。夜間、玄関灯や門灯を点灯してまちを明るくすることで、歩行者への安心感を与え、同時に、ひったくり、性犯罪、住宅等への侵入などの事件、事故を防止することにつながります。夜間、まちを明るくする門灯点灯運動への区民の皆様参加を促し、夜道を安心して歩ける防犯力に優れたまちづくりを目指すとともに、環境にやさしいLEDの啓発・普及を図ります。	環境にやさしいLEDの普及と防犯対策にて有効な夜間の門灯の点灯運動を区内で推進するため、平成26年度末に区役所及び下京防犯推進委員協議会、下京警察署の連名で作成した啓発ポスターを、ご協力いただいた世帯の軒先等に掲示した。(区内約700部)。	啓発ポスターや自治会館の門灯LED化を通じ、地域や住民や事業者に対して、意識啓発を図ることができた。 門灯点灯は、軽易に実施できる防犯への効果的な取組であること踏まえ、「下京区版運動プログラム」の取組等を勘案しながら展開を図っていく。	地域力推進室
	下京区安心安全ネット継続応援事業の推進	事業開始から5年が経過し、各地域ではこの事業を活用して、子どもたちの通学路での事故防止を図るために子どもの注意喚起を行う電柱幕を設置する取組が行われるなど、各学区の防犯推進委員、交通対策協議会、子ども見守り隊などの皆様による自主的な安心・安全なまちづくり活動が進んでいます。今年度も引き続き安心・安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対する補助を行い、地域の安心・安全なまちづくりを支援します。	安心安全の取組に対して、5学区に補助金の交付を行った。 補助金交付学区:淳風、安寧、開智、大内、郁文 ・具体的な学区での取組 安心安全活動用ジャンパー等の作成 犯罪防止用LEDセンサーライトの設置 安心安全活動用グッズの購入	区民が自主的・主体的に行う身近な安心・安全の取組を支援・推進するため、今年度から各学区とも4年に一度は補助金を交付することとした。平成28年度も引き続き、6学区に安心安全の取組に補助金交付を行う予定である。	地域力推進室

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	不良な生活環境を解消するための支援等の推進	<p>ごみの溜め込みや多数の動物の飼育等の行為により、近隣を含む生活環境に悪影響を与えるいわゆる「ごみ屋敷」等の地域課題の解消を進め、安心・安全で快適な生活環境の確保及び相互に支えあう地域社会の構築を目指します。</p> <p>区役所では、地域の皆様の相談を受けて、ごみ屋敷等の対策として、2年前から関係者による対策組織を立ち上げ、この間5件の地域課題を解消してまいりました。今後とも、社会的孤立等の状態にあり、既存の制度や地域だけでは対応が難しい方に対して、「京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例」に基づき、保健師をはじめとした区役所職員が、対象者への寄り添った支援を行うことを基本に、京都市社会福祉協議会の地域あんしん支援員や地域の皆様、関係機関と協力連携してその解決に向けた取組を進めます。</p>	<p>今年度においては、5月、7月に対策事務局コアメンバー会議を開催し、不良な生活環境の対象となっている6件の案件について調査結果を協議し、支援方針を明確にすることができた。</p> <p>また、対策事務局の関係機関は、これまで以上に情報提供などを通して密に連携を図る機会が増え、地域住民の対策事務局への取組への理解も深まって来た。</p> <p>面談することが困難な方、人との接触を拒む方に対しても、社会福祉協議会の地域あんしん支援員をはじめとして、地域力推進室の保健師も参加し、頻回の訪問と寄り添い支援を実践できた。現在対応が困難な対象者には信頼関係づくりを進めている。</p>	<p>引き続き、不良な生活環境の解消に向けて、地域や関係機関と連携しながら、対象者に寄り添った支援を行うことを基本に、その解決に向けた取組を早急に進めるとともに、より困難な対象者に重点的に対応していく。</p>	地域力推進室 福祉部 保健部
	空き家を活用した地域力の向上	<p>空き家の発生は、まちのコミュニティにとっても大きな課題です。これに対処するため、今、区内の修徳学区と有隣学区では空き家問題を住民同士で考え、コミュニティ豊かなまちづくりに向けて取り組んでおられます。区役所も、地元の皆様や、まちの不動産屋さんの協力を得ながら、空き家を有効に活用し、地域の自治活動に積極的に参加していただける居住者を増やすことで、地域力の向上を図ります。</p>	<p>修徳学区では、学区内に存在する具体的な空き家を対象に、地域の方々から出されたアイデアを踏まえて、コミュニティに資する空き家活用方法を地域全体で話し合っている。</p> <p>有隣学区では、まちづくり委員会が中心となり、空き家相談窓口を設け、所有者等の相談に応じている、まずは、空き家活用の最初のモデルケースづくりを目指しており、今後は、地域資源を大切にしたい有隣学区ならではの空き家活用に繋げられることを目指している。</p>	<p>他学区においても地域で空き家問題に取り組まれるよう、働きかけていく。</p>	地域力推進室
	極め細やかな下京区防災訓練の実施	<p>平成26年中に区内で発生した火災件数は、平成25年に比べて10件減少しました。梅逕学区では、無火災の期間が21年を超えているなど、各学区における防火意識の高まりが結果に結びついています。</p> <p>また、平成28年度には、京都市総合防災訓練が下京区で実施される予定です。今年度は、この平成28年度の訓練を実のあるものとするため、下京消防署、下京警察署、下京区自主防災会連絡会、防災関係機関などと更なる連携を図り、地域の皆様の防災意識向上につながる防災訓練を行い、災害に強いまち・下京区を目指します。</p>	<p>今年度は、平成23年度から実施していた東西方面別訓練として実施してきた下京区総合防災訓練を広域避難場所でもある梅小路公園で区全体から広く参加してもらえる訓練として実施した。</p> <p>日 時 12月13日(日) 午前9時～正午 参加者 約350人 主な訓練内容 広域避難場所である梅小路公園までの避難訓練、消火訓練、応急処置訓練、上下水道局による給水訓練、南部土木事務所による土のう訓練など</p>	<p>平成28年度は、市の総合防災訓練の当番区でもあることから、防災訓練開催に向け、地域や防災関係者と一緒で大規模災害時に対応できる防災訓練となるよう取り組み、災害に強いまち・下京区を目指す。</p>	地域力推進室

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	子ども家庭支援ネットワークの推進	子育てを支援する関係機関や、子ども育みサポーターとの連携を図りながら、乳幼児を養育中の親子のふれあいと交流の場を提供する「下京たんぽぽ広場」の継続的な開催や孤立しやすい子育てで家庭を主任児童委員が訪問する「下京赤ちゃんねっと」事業を実施します。	<p>○「下京たんぽぽ広場」を実施 日 時 ①6月10日(水)、②10月28日(水) いずれも午前10時30分～正午 場 所 元安寧小学校 参加者 ①187人(大人95人、子ども92人) ②187人(大人93人、子ども94人) 主 催 下京たんぽぽ広場実行委員会</p> <p>○「下京赤ちゃんねっと」事業を実施 子育てを支援する関係機関と連携し、主任児童委員による孤立防止のための訪問事業を実施した。 実 績 94件 主 催 下京赤ちゃんねっと実行委員会</p>	<p>「下京たんぽぽ広場」は毎回参加者から「本当に楽しかった」、「子どもが喜んでいた」などと好評をいただいております。乳幼児親子のふれあいと交流の場として定着している。</p> <p>「下京赤ちゃんねっと」事業は、訪問先の保護者から「地域の子育て関係施設等の情報が分かる」と喜ばれている。</p> <p>また、支援が必要と思われる子育てで家庭に対して訪問などの働きかけを継続することにより、子育て家庭の孤立化や児童虐待等の未然防止に努めていく。</p>	支援課 健康づくり推進課
	「こころのふれあいネットワーク」事業の推進	地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成されている「こころのふれあいネットワーク」の事業を通じて、精神障害やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行います。また、ネットワーク通信「下京こころほっとだより」等の発行、講演会や地域懇談会の開催を通じ、活動内容を広く区民の皆様へ情報発信します。	<p>「下京こころのふれあいネットワーク」が主催し、以下の取組を実施した。</p> <p>・「こころの健康」をテーマとする講演会 ① 日 時 8月27日(木) 午後2時～4時15分 場 所 京都産業大学 むすびわざ館 テーマ 更年期障害とこころの変化 参加者 19人 ② 日 時 平成28年2月17日(水) 午後2時～4時30分 場 所 下京区役所会議室 テーマ 認知症について考える 参加者 64人(民生児童委員及び老人福祉委員の方も含む。)</p> <p>・地域に向向いて実施する学習会 日 時 11月18日(水) 午前10時～11時10分 場 所 下京老人福祉センター集會室 テーマ こころの病を知るセミナー 「病がある方を地域で支えるために」 こころの病とこころの病を抱える方との関わり方及び当事者の話 参加者 55人(下京老人福祉センターの利用者)</p> <p>・福祉施設などに関するパネル・作品展 期 間 平成28年2月15日(月)～2月19日(金) 場 所 下京区役所1階</p> <p>・ネットワーク活動の紹介等を掲載するネットワーク通信の発行 発行時期 5月(第6号)、11月(第7号) 発行部数 各450部</p>	<p>講演会では、区民や地域の役員の方も多数参加され、更年期障害についての理解や認知症についての理解を深めることができた。</p> <p>地域に向向いて実施する学習会では、「こころの病がある方と健康な人が共に地域に暮らしていけたらよい。」「当事者の方の話から悩みながら生活している事が切実にわかりました。」など地域で生活しているこころの病のある方について区民の皆様は理解を深めていただく機会になった。</p> <p>パネル展やネットワーク通信では、こころのふれあいネットワークの活動や関係機関について、広く区民の皆様は知っていただく機会になっている。</p> <p>また、今年度からは、こころの病がある方の声を発信するため、ネットワーク通信に当事者・読者コーナーを設けている。</p> <p>今後とも区民の皆様はこころの健康づくり及びこころの病があっても暮らしやすいまちづくりにつながるよう、精神疾患やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発活動を継続していく。</p>	健康づくり推進課

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして安 全を高める	権利擁護等高齢者 福祉ネットワークの充 実・強化	高齢サポート(地域包括支援センター)を 核とした高齢者福祉ネットワークを強化し、 地域あんしん支援員とも連携しながら高齢 者の権利擁護や高齢者に関する問題及び 課題の解決に取り組みます。	高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート(地域包括支援セン ター)が中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が「区民が主役のまちづく りサポート事業補助金」を活用して以下の事業を実施した。区役所も同ネットワークに参画し、共に 取り組んだ。(実施主体:「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」) ・権利擁護講演会(いずれも下京区役所内で開催) 日 時 ①9月27日(日), ②平成28年3月12日(土) 午前10時30分～11時30分 参加者 ①約60人, ②約40人(計約100人) ・高齢者なんでも相談会(いずれも区役所内で開催) 日 時 ①9月27日(日), ②平成28年3月12日(土) 午前10時30分～午後4時 参加者 ①9組, ②29組(計38組) ・出張ミニ相談会 日 時 ①9月16日(水) 午後2時～4時30分 ②平成28年2月16日(火) 午後1時30分～4時 場 所 ①京都南病院, ②老人福祉センター 参加者 ①11組, ②10組(計21組) 上記のほか、高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、毎月、定期的に地域包 括支援センター及び関係機関と協議を実施し、情報共有及び連携を図っている。	講演会及び相談会については、 毎回、参加者から「よく話を聞いて もらえた」、「解決の糸口が見いだ せた」などと好評をいただいでい る。また、事業を通し、ネットワー クを構成する関係機関や、司法書 士・弁護士・税理士など様々な専 門職の参加者間の交流が深まるこ とによって、高齢者に係る支援の 厚みが増すほか、円滑に連携でき るようになってきている。 今後も、高齢者の権利擁護支援 の充実に向け、関係機関と連携 し、効果的な取組を進めていく。	支援課 健康づくり推 進課

基本方針・重点方針	27年度重点取組			
	取組名	目標	実績	備考

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)

<p>基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める</p> <p>基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める</p>	<p>新たな賑わいを創出する京都駅西部エリアの活性化</p>	<p>京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする京都駅西部エリアは、京都水族館をはじめ、すざくゆめ広場や市電ひろばの開業もあり、活気や賑わいが増えています。また、食の安心安全を守る中央卸売市場第一市場では、京の食文化の継承と発展に向けた市場づくりを進めています。更に平成28年春には、京都鉄道博物館の開業が、平成31年には七条通付近にJR新駅の設置が控えており、梅小路公園界隈がより魅力に溢れたエリアとなって、もっと皆さんに楽しんでいたできるように、このエリアの企業等の皆さんが協力し、京都駅から梅小路公園への歩行環境の整備やエリアマップの作製、清掃活動など、にぎわい創出に向けた取組が始まっています。</p> <p>このような、地域住民や企業の皆様と共汗によるまちづくりを進め、より一層賑わいと回遊性のある地域にしていきます。</p>	<p>JR西日本を中心とする京都駅から梅小路公園周辺の企業・団体が構成する「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」が平成27年2月に発足し、区はオブザーバーとして参画。京都駅から梅小路公園を活動エリアとし、今年度は地域を盛り上げるため、集客イベントの実施やエリアを紹介するガイドマップの制作等が行われ、区ではそれらの広報支援と地域への周知に努めるとともに、エリアの合同清掃に共に取り組んできました。</p> <p>また、本市(総合企画局)では、「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」の実現をめざし、民間の活力や今後設立されるまちづくり組織の活動の支援を促進するため、平成28年3月4日(金)に「京都駅西部エリアまちづくり協議会」を設立した。</p>	<p>今後とも、「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」及び「京都駅西部エリアまちづくり協議会」と連携し、賑わいあるまちづくりに向けて、共に取り組んでいく。</p>	<p>地域力推進室</p>
	<p>京都駅東部エリアのまちづくりの推進</p>	<p>京都駅東部エリアでは、「創造・交流・賑わい」のまちを目指す「崇仁地区将来ビジョン」の実現に向けた取組が進められ、平成27年3月には「京都市立芸術大学移転整備基本構想」も策定されました。区役所では、移転に先駆けて芸大が区内の小中学校で実施する特別授業や、芸大を核とした地域の取組を支援し、地域の活動団体や子ども育みサポーター、小中学校等と連携しながら、芸術や文化、交流をキーワードとしたまちづくりを進めていきます。</p>	<p>「京都市立芸術大学を核にしたエリアマネジメント」準備組織の企画推進会議に定期的に参加して、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう、取り組んできました。</p> <p>また、元崇仁小学校にて芸大の講師を招き「親子ふれあいアート教室～親子で伝書鳩を飛ばそう!～」の開催や、「楽市洛座 京の名店グルメフェア」や芸大が下京渉成小学校で実施した土曜学習「自分だけの飛行機をつくろう 青空ジェット」への協力などを行った。</p> <p>・楽市洛座「京の名店・グルメフェア」 日 時 4月19日(日)午前11時～午後3時 場 所 平成の京町家(モデル住宅展示場KYOMO広場) 参加者 約500人</p> <p>・親子ふれあいアート教室～親子で伝書鳩を飛ばそう!～(親子参加型ワークショップ) 日 時 平成28年1月23日(土)午前9時～午後4時 場 所 元崇仁小学校 参加者 親子19組</p>	<p>関係部署と協議し具体的な取組の方向性を検討するとともに、引き続き、地域の取組を更に進め、芸大移転に向けての気運を盛り上げていく。</p>	<p>地域力推進室</p>
	<p>「歩いて知る、下京魅力再発見」の取組の推進</p>	<p>昨年度は、中京区と連携して実施した「高瀬川散策スタンプラリー」が大変好評でした。今年度も、区民の皆さんだけでなく、周辺の行政区とも連携しながら、地域の文化や歴史、隠れた名所等を紹介する取組や、京都商工会議所と連携して京都検定1級合格者が地域の歴史や文化を分かりやすく説明し、親子で楽しく学べる事業も実施します。</p>	<p>○「京都の歴史・文化を再発見!! 京・フォトロゲイニング2016」 京都市内の史跡や文化施設、歴史建造物などを巡り、地域の歴史や文化に触れることで京都の魅力を再発見していただくとともに、チーム内での家庭や仲間との助け合い、幅広い世代の参加者との交流を通じて「ふれあい」をより一層深めることを目的に実施した。 日 時 平成28年3月19日(土) 午前9時30分～午後1時30分(競技時間) 場 所 元植柳小学校 体育館 参加者 83組287人 特 徴 チェックポイントの選定にあたっては「京都検定」を実施している京都商工会議所の協力を得た。競技範囲が市内広範囲に及ぶため、特別ルールとして、移動手段は歩く、走るの他に公共交通機関を利用することができることとした。</p>	<p>今後とも、地域の歴史や文化に触れてもらい、下京区の魅力を発見し、地域に愛着を持っていただける取組を実施していく。</p>	<p>地域力推進室</p>

基本方針・重点方針	27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かし て魅力を高める	民間主導と区民参加による「下京・京都駅前サマーフェスタ2015」の支援	京都駅ビル開発㈱や西本願寺、東本願寺とともに、地元学区の皆様、小中学校、各種団体等の積極的な参加のもと、下京区の新しい夏の風物詩である夏祭りの事業を一緒に進め、まちの賑わいづくりを進めます。	○下京・京都駅前サマーフェスタ2015 日時 8月1日(土) 午前10時～午後5時 場所 西本願寺、東本願寺、京都駅ビル駅前広場 参加者 約18,000人 内容 西本願寺…スタンプラリーポイント(7/30,31にイベントの納涼盆踊り開催) 東本願寺…フリーマーケット、工作やゲームコーナー、ツリーライミングなど 京都駅ビル…オープニング、KBS京都ラジオ生放送、地域連携ステージなど	4回目の開催を迎え、下京の夏の風物詩として定着しており、引き続き、取り組んでいく。	地域力推進室
	地域の魅力を高めるまちづくりの支援	地域の魅力を高めるため、永松学区における地区計画策定に向けた取組が大詰めを迎え、開智学区でもこれに刺激を受け、同様の動きが始まろうとしています。また、菊浜学区や梅逕学区でも地域みんなで考える「まちづくり組織」の立ち上げに向けた動きが広がっています。このように、地元学区の皆様や各事業者等と区役所が一体となって、地域全体でまちづくりに取り組み、それぞれの学区やエリアの特色を生かした取組を支援します。	永松学区の下木屋町地区においては、地区計画が策定されたが、目指すべきまちづくりにおいては地区計画の法的規制だけではなく、自主ルールによるまちづくり活動が必要として、ルールづくりが進められている。 開智学区については自治連の3役に対して区役所、都市計画局、京都市・景観まちづくりセンターが協力し、地区計画制度の概要を説明した。 菊浜学区においては、平成27年1月に住民が一体となって地域の活性化に取り組んでいくため、「菊浜まちづくり推進委員会」を設立。今年度は、菊浜のまちづくりに関して、住民が日頃感じている魅力や課題等について話し合う「菊浜まちづくり意見交換会」が実施されるとともに、高瀬川をはじめ、学区に残る歴史的建造物や地元目線で見た地域の名所を紹介する「菊浜トコトマップ」が制作され、区もそれらの取組の支援を行ってきた。 梅逕学区においては、注目を集める京都駅西部エリアの一角としてまちの将来像を住民全体で共有することを目指し、「梅逕まちづくり委員会」を設立。学区民によるまちづくりに関する意見交換会をはじめ、これまでから関心の高かった元梅逕中の跡地活用問題について協議を進めており、区では関係部署との調整等支援を行っている。	地域の資源、コミュニティなど、地域の特色を生かし、ハード・ソフトの両面から地域の魅力を高めていくために、地域が主体となったまちづくり活動を支援し、京都市・景観まちづくりセンターや関連部局と協力しながら、まちの活性化に向け、取り組んでいく。	地域力推進室

基本方針・重点方針	27年度重点取組			
	取組名	目標	実績	備考

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)

<p>基本方針 Ⅲ-① エゴを捨てて エコ活動を行う</p>	<p>エコ活動の支援</p>	<p>下京区では、全23学区が地域ぐるみでエコ活動を推進する旨のエコ学区宣言をし、熱心なエコ活動の取組が進んでいます。今後も、2R(そもそもごみを出さない「リデュース」、再使用する「リユース」)や分別・リサイクルの促進、さらには紙袋や封筒、包装紙などの「雑がみ」をエコ学区などの住民団体を単位として回収する「コミュニティ回収」をはじめとした地域ぐるみの雑がみ回収など、環境にやさしいライフスタイルへの転換と地域や家庭から排出される二酸化炭素が削減することを旨とした取組を支援していきます。</p>	<p>今年度は「エコ学区事業」として、支援物品、チャレンジプログラム、学習会、省エネ診断等を行った。 平成28年度からは、3年間が終了した学区及びモデル学区が、さらに活発なエコ活動が行えるよう、新規事業の「エコ学区」ステップアップ事業を行う。2、3年目のエコ学区は、現行のエコ学区事業に対応する。 【参考】 ・モデル学区(23・24年度) 有隣 ・25年度にエコ学区 修徳、尚徳、皆山、安寧、梅逕、大内、西大路、光徳、淳風、郁文、豊園、開智、稚松、菊浜、崇仁 ・26年度にエコ学区 植柳、七条、七条第三、醒泉、格致、成徳、永松</p>	<p>「京都環境賞エコ学区部門」で、梅逕学区が「エコ学区推進賞」を受賞した。</p>	<p>地域力推進室</p>
<p>基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える</p>	<p>下京地域コミュニティ活性化応援事業の実施</p>	<p>地域コミュニティ活性化推進条例が施行され、下京区では新築マンションの入居者と周辺住民の繋がりづくりに向けた積極的な取組や支援を行ってきました。こういった取組により、尚徳学区ではマンションにお住まいの方と旧町内会の交流会が開かれるなど、地域の交流が生まれています。 今後も地域の支え合いを大切にしたい、誰もが安心して住み続けられる下京区を目指し、地域の特性やまちづくり活動の状況を踏まえながら、自治活動への参加に向けた支援を行います。</p>	<p>若手世代の地域参加を目的に、その若手世代の「地域」への考え方を知らうと、下京区内の各小中学校の協力を得て小学校に通う保護者の方を対象に「地域の繋がり・町内会に関するアンケート」を実施した。 実施時期 平成27年7月 配布枚数 2,148枚 回収枚数 1,468枚(回収率 68.3%) アンケート結果において、多くの方が地域の繋がりは良好な子育て環境において重要であると感じられているが、町内会加入率はマンション等の共同住宅にお住まいの世帯では約6割に留まっている。(全体では約8割が加入)</p>	<p>安心安全なまちづくりの実現には地域の中で「顔の見える関係づくり」が重要であることが明らかになったため、若手世代をはじめ、あらゆる世代が地域参加しやすい地域づくりを目指し、今後も支援を行っていく。</p>	<p>地域力推進室</p>
	<p>「下京・町衆倶楽部」の活動支援</p>	<p>下京を愛する様々な立場の方々が集い、下京の魅力あふれるまちづくりについて自由な発想で話し合い、自ら実践する様々な活動がより広がっていくよう、引き続き支援していきます。また、下京区内に限らず様々な地域でまちづくり活動に取り組まれる方々との出会いの場としての交流会の開催やネットワークづくりなどの支援を行います。</p>	<p>下京・町衆倶楽部のチーム「下京〇(マル)つなぎ屋」が拠点である元安寧小学校の教室で毎月1回「下京茶屋」(交流会)を開催。魅力あふれる下京区のまちづくりなどについて自由な発想で話し合った。 また、「下京ふれ愛ひろば」や「堀川さくらまつり」にブースを出展し、自転車タクシーや区役所屋上緑化などの活動内容を多くの方に周知することができた。</p>	<p>今後も、様々な出会い・つながりの場を提供し、区内でのまちづくり活動を盛り上げていく。</p>	<p>地域力推進室</p>

基本方針・重点方針	27年度重点取組			
	取組名	目標	実績	備考

2 区民の皆様の地域力を生かした新たなまちづくりのために

地域が持つ底力を引き出し、区民の皆様と力を合わせてまちづくりを進めます。	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	<p>制度開始から3年が経過し、これまで本事業を活用した66の活動が実施されました。例えば、平成25年度に採択された「七三ゆるキャラ制作プロジェクト」事業では、京都市初の学区ゆるキャラ「なみっと君」が誕生し、もちつき大会など様々な行事で大活躍。地域全体で子どもを育み、絆を深める大きな役割を果たしています。このように、区内各所で下京の「地域力」を活かした様々なまちづくりが展開されています。</p> <p>4年目を迎える今年度は、内容を大きくリニューアルし、新たな重点部門として「子ども・若者はぐくみ応援」部門、「絆づくり応援」部門、「おもてなし応援」部門を設けるとともに、まちづくりの取組により一層活用していただくため、予算も増額しました。下京区をもっと楽しくしたい、暮らしやすくしたいという皆さんの活動を支援します。</p>	<p>下京をより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民等が地域力を生かして主体的に行う活動を支援し、「参加と協働」による下京区基本計画の推進を図ることを目的に下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業補助金を交付した。</p> <p>募集期間 4月15日(水)～5月20日(水) 申請件数 44件 採択件数 35件 審査会 6月10日(水)、17日(水)</p> <p>【参考】 予算額 7,200千円 決算額 6,861千円</p>	<p>申請数、採択数ともに年々増加しており、制度が定着しており、本事業を契機とした区民等の皆様による下京区内のまちづくりが進んでおり、引き続き、本事業を実施し、まちづくりの輪を一層広げていく。</p>	地域力推進室
	「下京区民まちづくり会議」の開催	<p>下京区基本計画策定から5年目となる今年度は、これまで取り組んできた事業について、様々な分野でまちづくりに関わる方々から広く御意見をいただいて振り返りを行い、今後5年間の事業に関する協議を行います。</p>	<p>下京区基本計画の推進等について広く意見をいただくため、区民まちづくり会議を実施した。</p> <p>日時 平成28年3月16日(水)午後2時～3時 場所 下京区役所会議室 参加者 42人 議題 平成27年度事業取組状況及び平成28年度事業案 区内の各地域におけるまちづくり情報等 平成27年度国勢調査速報値及び学区別の人口推移 区における治安概況及び火災発生情報等</p>	<p>更に、基本計画の進捗管理や新たな課題への対応の検討等、まちづくり会議を充実していく。</p>	地域力推進室
	ふるさと納税寄付金制度の活用	<p>ふるさと納税寄付金制度によっていただいた貴重な財源を、御寄付をいただいた方の意向も踏まえ、地域の皆様とともに下京区のまちづくりのために有効に活用します。</p>	<p>「地域の子どものための活用してほしい」という寄付者の御意向を踏まえ、「区民が主役のまちづくりサポート事業」の「子ども・若者はぐくみ応援部門」として採択された事業(7件)の補助金等に充当した。</p>	<p>今後とも、ふるさと納税寄付金制度によっていただいた貴重な財源を、御寄付をいただいた方の意向も踏まえ、地域の皆様とともにまちづくりの推進のため有効に活用していく。</p>	地域力推進室

基本方針・重点方針	27年度重点取組			
	取組名	目標	実績	備考

3 より一層信頼される区役所づくりのために

<p>すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るといふ基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様（来庁者）に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する</p> <p>また、全職員が高い防災意識を持ち、災害時に迅速に行動する</p>	<p>公務員倫理及び法令遵守の徹底</p>	<p>区役所職員は、区政への市民の信頼を得るため、市民から負託を受けた公務員としてのより高い規範意識や職業倫理を保持するように努めます。法律や規則、条例などの根拠に基づく業務遂行はもとより、前例踏襲主義ではなく、何か別の方法がないか、改善の余地がないかということを中心に考えながら、創造的かつ主体的に職務を遂行するよう徹底します。</p>	<p>・全庁”きょうかん”推進部会終了後速やかに下京区役所課長会を開催するなどあらゆる機会をとらえて各所属長に対し、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図り、各所属長から所属職員への周知を行っている。（地域力推進室）</p> <p>・あらゆる機会をとらえて公務員倫理・法令遵守の周知徹底を図るとともに、迅速な事務処理を目指し、できることから業務上での改善を図った。（区民部）</p> <p>・機会があるごとに公務員倫理・法令順守の周知を図るとともに、窓口において制度説明を行う際、根拠となる法令・条例・規則にのっとり正確な説明に努めている。今年度改正のあった制度についても、制度理解を十分に深め、市民に正しく伝わるよう説明を行っている。（福祉部）</p> <p>・窓口や電話における適正で迅速な市民応対を行うために業務マニュアルの内容点検、見直しを行っており、今後も継続して行っていく。（保健部）</p>	<p>今後とも、信頼される区役所づくりのため、機会あるごとに公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。</p>	<p>地域力推進室 区民部 福祉部 保健部</p>
	<p>市民サービスの向上</p>	<p>区役所では毎年、窓口アンケート調査を実施して、職員の仕事に対する姿勢や、職員の説明は分かりやすく丁寧であったかといったことについて、皆様方の声をお聞きしています。平成26年10月に実施した窓口アンケート調査の結果では、来庁者の皆様には概ねご満足いただいていたのですが、「笑顔やアイコンタクトが少なかった」との声もいただきました。アンケート結果は各職場に反映し、区民の皆さまの視点に立った、満足度の高い行政サービスの提供に取り組みます。特に、今年は笑顔で心地よい応対に努めます。</p>	<p>・平成26年10月に実施した窓口アンケート調査の結果をもとに、下京区役所課長会などの機会を通じて周知し、各所属内で機会あるごとに笑顔やアイコンタクトをとりながら対応できるように心がけてもらっている。（地域力推進室）</p> <p>・交付窓口用の番号表示モニターの設置や窓口レイアウトの変更を始め、来庁者に分かりやすい窓口となるよう工夫するとともに、ソフト面でも親切・丁寧な対応を心がけ、市民サービスの向上に努めた。また、婚姻メモリアル証贈呈事業が満2周年を迎える平成28年2月22日に、婚姻届を出された御夫婦に対し、新しい門出を祝福するとともに下京区に愛着を持っていただくため、婚姻メモリアル証に加え、区長メッセージと記念品を贈呈した。（区民部）</p> <p>・制度改正が行われたものについては、十分に説明を行い、市民への理解を得る努力を行っている。また、ロビーで窓口を探している市民に対して積極的に声掛けを行った。（福祉部）</p>	<p>今後サービスの状況を確認し、来庁者の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、笑顔で分かりやすく丁寧な説明を行うなど、サービスの向上に向け取り組んでいく。</p>	<p>地域力推進室 区民部 福祉部 保健部</p>
	<p>防災訓練・研修の充実</p>	<p>大規模災害時に、全職員が機敏に対応できるよう、大規模災害を想定した防災訓練を実施するとともに、下京区社会福祉協議会と連携を図り、東日本大震災の被災地でもある塩竈市の職員による実体験に基づいた講演会を開催するなどの防災研修を行います。</p>	<p>・平成28年1月21日（木）に下京区社会福祉協議会と連携を図り、下京区と交流があり東日本大震災の被災地でもある宮城県塩竈市から職員を招き「下京区防災講演会」を開催した。</p> <p>・東日本大震災での実体験を開ける貴重な機会でもあることから下京区内をはじめ区外からも地域で活躍しておられる防災関係の皆様にも参加していただき講演会を開催した。</p> <p>講師 塩竈市建設部都市計画課 阿部 光浩課長 テーマ 宮城県沖地震発生確率99%で起きた東日本大震災 参加者 約230人</p>	<p>引き続き、職員が災害時に機敏に対応できるよう防災訓練や研修を実施していく。</p>	<p>地域力推進室</p>